

出席者：彦根、石井、長谷部、長谷川、関、杉浦（事務局長）、井上（会員）、村山（会員）、白子さん・大場さん（オブザーバー）

進行係：彦根

議事録：川村、井上、長谷部

1. 「K団地再生計画研究」：長谷部【報告】

- ・6月17日（金）現地サーベランス with 篠崎先生／自治会長とも面談予定
自治会内できちんとコンセンサスとれているのか、また会が持っている危機感等を確認。
自治会の根本的な要望を上手く聞き出すのが重要（関）
→次回理事会にて進捗を報告予定。

2. 施主向けウェブサイト：関【報告】

- ・デザインをもう少し修正、月内にはとりかかる予定。（関）
- ・カッコ良さより分かりやすさ、流行にのっかっていない方が良い（彦根）
- ・コンテンツが薄いのが問題（彦根）

3. 家具蔵展示会について：彦根【報告】

- ・奇数月のイベント枠をもらっていたものの、三上氏が声をかけた建築家が現在多忙につき年末にやりたいとリクエストを出したため穴が空いた。「学大×建築家」に急遽依頼した経緯があったとのこと。大変貴重な場なので今後も継続して展示会をさせていただけるよう、三上氏に改めてお詫びの機会をもつべき。
7月、9月、11月の担当者は未定（彦根）
- ・秀光ショールームを会場として使えるか検討する（長谷部）

4. 出版ワーキンググループ：長谷川（エクスナレッジ担当三輪）【報告】

- ・去年の建築知識7月号の特集を書籍化した「3D間取りの教科書」2016年5月4日発刊（長谷川）
- ・編集協力者に原稿料を支払いその余剰金5.3万円を当会に留保する（長谷川）
- ・出版は印税5%と安い、宣伝効果あり。
- ・次の企画を検討して行く。

5. 3D間取りの教科書展：長谷川【報告】

- ～ここより展示会参加者参加（伊原、今城、二宮、村山、レベルアーキテクト）～
- ・来場者数：500人弱。（長谷部）
 - ・アンケート12,3枚のうち連絡が取れる2組、そのうち1名がマッチングに進む。
もう一組は会とは関係ない建築家が決まっている（関）
 - ・新宿、世田谷美術館（3回目）、600名、500名、500名（但し学生が多い）次回検討する。（長谷部）
 - ・展示内容も検討して行く（石井）
 - ・今回のマッチングフィーはザ・ハウスに委託。
展示会参加者が成約の場合：15%（ザ・ハウス8%、建築家住宅の会7%）
展示会非参加者が成約の場合：12%（ザ・ハウス8%、建築家住宅の会4%）
→了承
- 参加建築家を優先してのマッチングは可能か？
- ザ・ハウスでの紹介はお客様利益を考え公平性を崩さずにご紹介が前提。今後は紹介建築家枠をどうするか、また参加者の個人営業を了承するか否かを次回企画時に検討。
- ・参加者の利益があがるような仕組み取り決めを検討する（長谷部）
今後は参加費用は会で負担し、成約したら会に戻す方法がいいのでは？
→了承

- ・ 感想：同業者向けの印象。
世田谷美術館は建築家としては憧れの場所。
SEAS（NCN 主催）では、各建築家参加費 3～5 万円で少し高めだが、新聞広告など大々的に行い
集客をとる（成約にもつながりやすい）。
ここでもっと参加費を上げて集客、利益効果を狙ってもいいのでは？
参加費 5 万/人等に上げて、ザ・ハウスの広告枠を仕様し雑誌広告はした方が良いのでは（関）
- ・ 今回の参加費は 11000 円/人×9 名。余剰金約 4500 円（6/3 現在）は当会への収入とする
- ・ 本の売上報告：売上金額：143,300 円。（17 冊の販売）詳細は別紙（村山さん資料）共有。
今後は売上協力として手数料をいただいたくことが可能かを確認する。（村山）

6. その他：杉浦【報告】

- ・ 新理事、代表理事および監事の変更登記作業は、ザ・ハウスに手続き代行を依頼する。
費用については干場さんと協議する。
- ・ 会費未納者（2015 年迄納付 8 名，2014 年迄納付 3 名，2013 年迄納付 1 名）会則では 1 年の滞納で
除名となるが、期間を 3 年に伸ばし自動的に除名とする。
3 年間滞納者は除名。昨年までの滞納者へは意志確認を行う。
- ・ 会共有の Dropbox でデータ一元管理。事務局長が内容精査。

※次回理事会日程：9 月 9 日 18：00～ ザ・ハウスにて

以上